

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【公表番号】特表 2002-514920 (P2002-514920A)

【公表日】平成 14 年 5 月 21 日 (2002.5.21)

【出願番号】特願 平 10-549565

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

A 2 1 D 2/26

A 2 3 J 3/30

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 9/48

C 1 2 P 21/02

C 1 2 P 21/06

// (C 1 2 N 15/09

C 1 2 R 1:69)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 2 1 D 2/26

A 2 3 J 3/30

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 9/48

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 P 21/06

C 1 2 N 5/00 A

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 R 1:69

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 16 日 (2005.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年5月16日

特許庁長官 小 川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第549565号

2. 補正をする者

名称 ノボザイムス バイオテック, インコーポレイティド

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1通



請求の範囲

1. アミノペプチダーゼ活性を有する単離されたポリペプチドであって、
 - (a) 配列番号2のアミノ酸16～496のアミノ酸配列と少なくとも70%の同一性を有するアミノ酸配列を有するポリペプチド；
 - (b) 中緊縮性条件下で、(i)配列番号1のヌクレオチド46～1488の核酸配列、(ii)その相補鎖、または(iii)アミノペプチダーゼ活性を有するポリペプチドフラグメントをコードする配列番号1の部分配列(subsequence)、とハイブリダイズする核酸によりコードされるポリペプチド；
 - (c) (a)または(b)の対立遺伝子変異体；
 - (d) アミノペプチダーゼ活性を有する、(a)、(b)または(c)のフラグメント；および
 - (e) 物理化学的性質：(i)Ala-p-ニトロアニリドの存在下で周囲温度で測定した時にpH7.27からpH10.95までの範囲内の最適pH；(ii)基質の不在下で60℃で20分間インキュベーションした後で測定される、pH7.5での、初期活性と比較して90%以上の温度安定性；および(iii) N末端にAla, Arg, Asn, Asp, Cys, Gln, Glu, Gly, His, Ile, Leu, Lys, Phe, Pro, Ser, Thr, Trp, TyrまたはValを含む基質を加水分解する能力、を有する、アミノペプチダーゼ活性を有するポリペプチドから成る群より選ばれたポリペプチド。
2. 配列番号2のアミノ酸16～496のアミノ酸配列と少なくとも70%の同一性を有するアミノ酸配列を含んで成る、請求項1のポリペプチド。
3. 中緊縮性条件下で、配列番号1のヌクレオチド46～1488の核酸配列、またはその相補鎖、あるいはアミノペプチダーゼ活性を有するポリペプチドフラグメントをコードするそれらの部分配列(subsequence)、とハイブリダイズする核酸によりコードされる、請求項1のポリペプチド。
4. 高緊縮性条件下で、配列番号1のヌクレオチド46～1488の核酸配列、またはその相補鎖、あるいはアミノペプチダーゼ活性を有するポリペプチドフラグメントをコードするそれらの部分配列(subsequence)、とハイブリダイズする核酸によりコードされる、請求項1のポリペプチド。

5. 次の物理化学的性質：(i)Ala-p-ニトロアニリドの存在下で周囲温度で測定した時にpH7.27からpH10.95までの範囲内の最適pH；(ii)基質の不在下で60℃で20分間インキュベーションした後で測定される、pH7.5での、初期活性と比較して90%以上の温度安定性；および(iii) N末端にAla, Arg, Asn, Asp, Cys, Gln, Glu, Gly, His, Ile, Leu, Lys, Phe, Pro, Ser, Thr, Trp, TyrまたはValを含む基質を加水分解する能力、を有する、請求項1のポリペプチド。

6. E. コリNRRL B-21677中に含まれるプラスミドpEJG18中に含まれる核酸配列によりコードされる、請求項1のポリペプチド。

7. 請求項1のポリペプチドをコードする核酸配列を含んで成る、単離された核酸配列。

8. 適当な発現宿主中での前記ポリペプチドの生産を指令する1または複数の調節配列に作用可能に連結された請求項7の核酸配列を含んで成る核酸構成物。

9. 請求項8の核酸構成物、プロモーター、並びに転写および翻訳終結シグナルを含んで成る、組換え発現ベクター。

10. 請求項8の核酸構成物を含んで成る組換え宿主細胞。

11. 請求項1のポリペプチドの生産方法であって、(a)株を培養して前記ポリペプチドを含んで成る上清を生産し；そして(b)前記ポリペプチドを回収することを含んで成る方法。

12. ポリペプチドの生産方法であって、前記ポリペプチドの生産に適した条件下で請求項10の宿主細胞を培養し；そして(b)前記ポリペプチドを回収することを含んで成る方法。

13. タンパク様基質からの水解物の生産方法であって、前記基質を請求項1のポリペプチドとエンドペプチダーゼの作用にかけることを含んで成り、ここで、前記水解物がLeu, Gly, Glu, Ser, Asp, Asn, Pro, Cys, Alaおよび／またはGlnに富んでいる、方法。

14. 前記水解物がGlyに富んでいる、請求項13の方法。

15. 請求項1のポリペプチドと適当な担体とを含んで成る、風味改良用組成物。